

制服リニューアル

制服意識とデザイン受容性調査の考察

——— 調査結果の分析サマリー ———

I N D E X

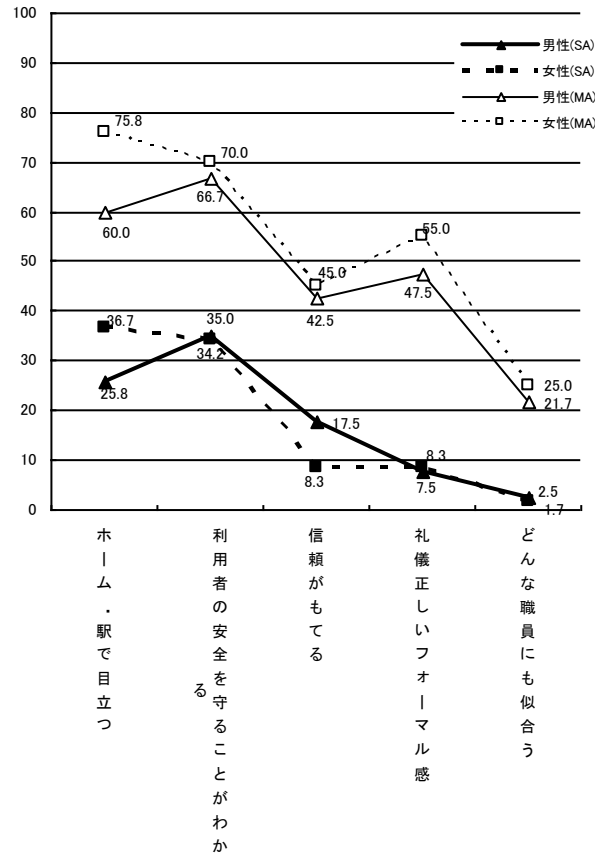
鉄道会社の制服に求められる要素	P. 2
量的検証によるNEWデザイン案評価	P. 3
付加すべき要素を明確にしたNEWデザイン案の方向性	P. 4

鉄道会社の制服に求められる要素

◆ 利用者の安全を守ること

◆ ホームや駅で目立つこと → 女性のニーズが多い
次いで「信頼感もてる」「礼儀正しいフォーマル感」

* 会場調査結果より



鉄道会社の制服イメージ

* 定性調査より

現在のイメージ

- ◆ 色調はダークカラー
- ◆ 駅務員の識別要素は帽子
- ◆ 公共性を感じさせる雰囲気
- ◆ エンブレム、手袋、手持ちの旗など、鉄道会社独自のアイテムやデザインエレメントを意識

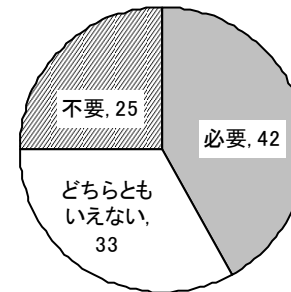
期待

- ◆ パツと目につくインパクト
- ◆ 格好よさ
- ◆ 親しみやすさ

ネクタイの必要性

* 会場調査結果より

ある方が好まれるが、夏にはなくてもよい。



女性より男性の方が必要という意識がある。

年代が高くなるほど男女ともネクタイはなくてもよいとの考えになる。

また必要とする人も夏季には不要との見方が大半を占める

量的検証によるNEWデザイン案評価

P Qの項目別比較

* 会場調査結果より



評価内容

ホームや駅構内で帽子が目立ってよい。
駅務員として最も好感度が高い。

課題

安全を守る仕事にふさわしい制服として、信頼感に結びつく要素をプラスする。



評価内容

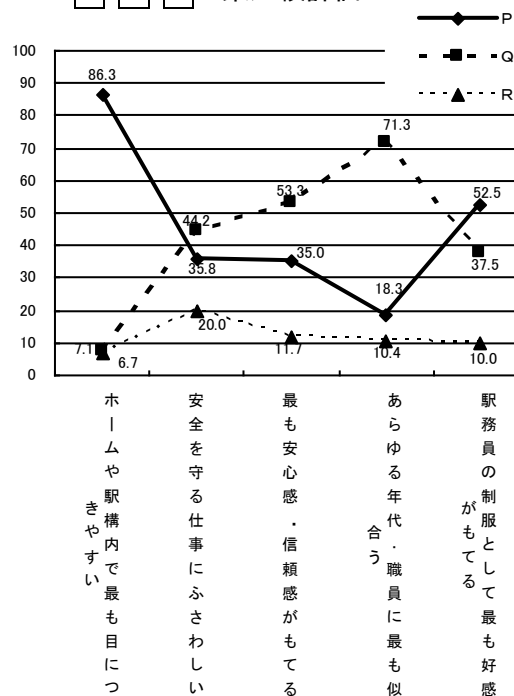
どんな職員にも似合う。
信頼感・安心感がもてる。

課題

無難なデザインで独創性に乏しいことから、目立ちの要素をプラスする。

* 会場調査結果より

■ P □ Q ▲ R 3案比較評価

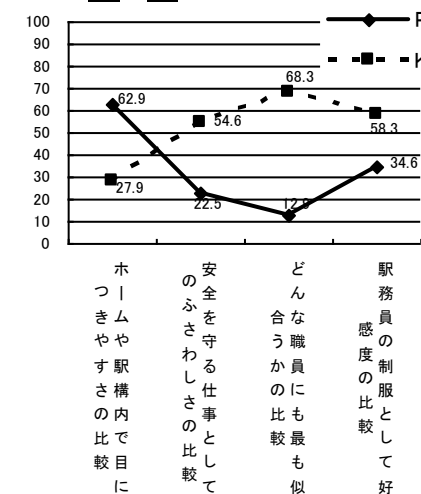


Kについて

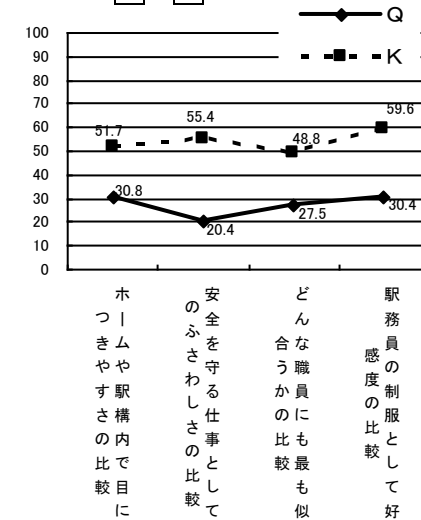
現在の鉄道のイメージを体現した好感度の高いデザインである。

駅務員としての好感度ではP Qの新しさにも3割以上の支持がある。

PとKの比較



QとKの比較



※Rは全ての項目においてP又はQを下回る評価だったため割愛

付加すべき要素を明確にしたNEWデザイン案の方向性

既存制服の評価内容

* 定性調査より



イメージ

威厳のあるデザイン
公的なフォーマル感
昔ながらの安心感
制服としての基本スタイル

エレメント

肩章
腕のライン
配色とデザインの統一性

NEWデザインに見る期待と目立ちの要素

* 会場調査/定性調査より



期待

安全を守る生活定着型
格調の高さとスマートさ
若々しさ
明るさ
独自性

エレメント

赤いマリン帽(帽子のデザイン)
胸のエンブレム
袖口のワインポイント

NEWデザインP Qに付加すべき要素

* 定性調査より



課題

安全を守る仕事にふさわしい。
制服として、信頼感に結びつく要素
をプラスする。

付加すべき要素

配色とデザインの統一性。
帽子・シャツ・ネクタイとスーツの
配色バランス。
肩章・襟章など、エンブレムに
よる鉄道らしさの演出。



課題

無難なデザインで独創性に乏しい
ことから、目立ちの要素をプラス
する。

付加すべき要素

赤マリン帽は目立ちのアイテムに
なる。
肩章・腕のラインなどで鉄道らしさ
を演出。
ネクタイ・リボン・スカーフなど小物
使用によるファッション性の向上。